取扱説明書

DAYTONA corp.
S73246①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ミドルウエイト アウターローターKIT	適応車種	商品ＮＯ.
	モンキー／ゴリラ （12V、キャブ車用）	73246

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。		

⚠警告

禁止

- 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

法令違反

- この商品は道路運送車両法の保安基準に適合しておりますが、スピード違反やマフラー、キャブ等交換により音量が保安基準を超えた場合は、ライダー自身が道路交通法違反で罰せられます。運転は必ず遵法運転を心がけ楽しいバイクライフをエンジョイしてください。

火気厳禁

- 作業の前にエンジン及びマフラーが冷えていることを確認してください。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていないまま作業を行いますと火傷の原因となり大変危険です。

実施

- 作業の際、ゴミやほこり等の付いたままのパーツをそのまま組み付けますとエンジン部品が痛みます。パーツ類は必ずきれいにしてから組み付けを行ってください。
- 作業の際、ケースカバー内に異物が混入しないよう十分に注意して作業してください。
- 取り付け後約１００km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。

その他

- この商品を装着すると点火時期が変わりますのでジェットセッティングが必要になる場合があります。
- 灯火系統は純正同等、充電系統は純正以上の発電量を持っておりますが、過大に電装部品を装着した場合には発電量が足りなくなる場合があります。予めご了承ください。
- ミドルウエイトアウターローターの取外しには品番 44686 フライホイールプーラー（M27　逆ねじ）が使用できます。
- 商品付属のデジタルＣＤＩはミドルウエイトアウターローターＫＩＴ専用です。純正ローター、他社製ローターには使用できません。
- 商品付属のデジタルＣＤＩ以外のＣＤＩは使用できません。予めご了承ください。
- デジタルＣＤＩは電子部品ですので振動の影響が出ないように固定してください。振動が大きいと内部基盤が損傷し、エンジンが始動しなくなったり、ふけ上がりが悪くなったりする場合があります。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。
- 商品の不良について商品についての保証を行っておりますが、商品以外の費用の保証は一切できませんのでご了承ください。
- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。

本商品の特徴

- デジタルＣＤＩが付属していますので、チューニングレベルに応じた点火マップを 4 種類から選択可能です。
- 純正同等の発電量を確保し、ヘッドライト等、灯火類の点灯も余裕です。

配線色	発電量	補足
黄色	130W/5000ｒｐｍ	灯火系発電
白色	140W/5000ｒｐｍ	充電

- ローター外径 103.5mm、重量は約 680ｇ±20ｇ（純正対比 35%軽量化）の採用で、レスポンスとマイルドさを残した絶妙なサイズに設定しています。
- フルデジタル点火ＣＤＩで４サイクルエンジンに要求される進角特性を確保しています。

商品内容

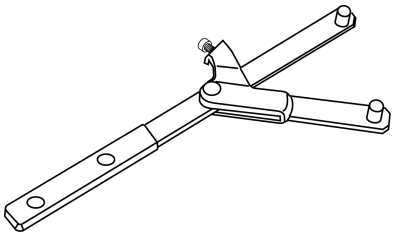
NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	フライホイール	約680ｇ	1	⑥	Oリング	大	1
②	ステーターコイル ASSY		1	⑦	Oリング	小	2
③	デジタルCDI		1	⑧	オイルシール		1
④	六角穴付きサラネジ	M6	2	⑨	結束バンド	300L	2
⑤	クッションスポンジ	貼付け済	1				

装着条件

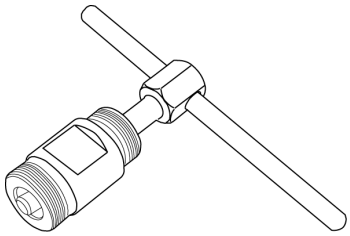
- モンキー12V 車ケースカバー専用です。6V ケースカバーは取り付けできません。また、社外カバーについては取り付け未確認のため、当社では取り付けの可否は分かりかねます。

取り付けに必要な特殊工具

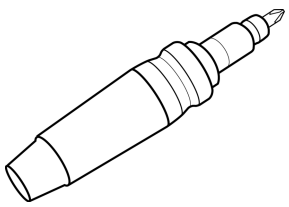
本商品の装着には、以下の特殊工具が必要です。



品番 36469
シザーズホルダー



品番 44686
フライホイールプーラー



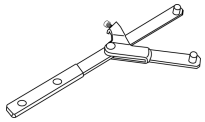
インパクトドライバー
市販品

取付方法

【ノーマル部品の取り外し】

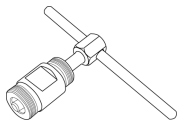
1. Ｌクランケースカバーを取り外します。
2. シザーズホルダーで周り止めをし、フライホイールセンターナットを外します。

One Point! 品番 36469 シザースホルダー￥3,465 が使用できます。

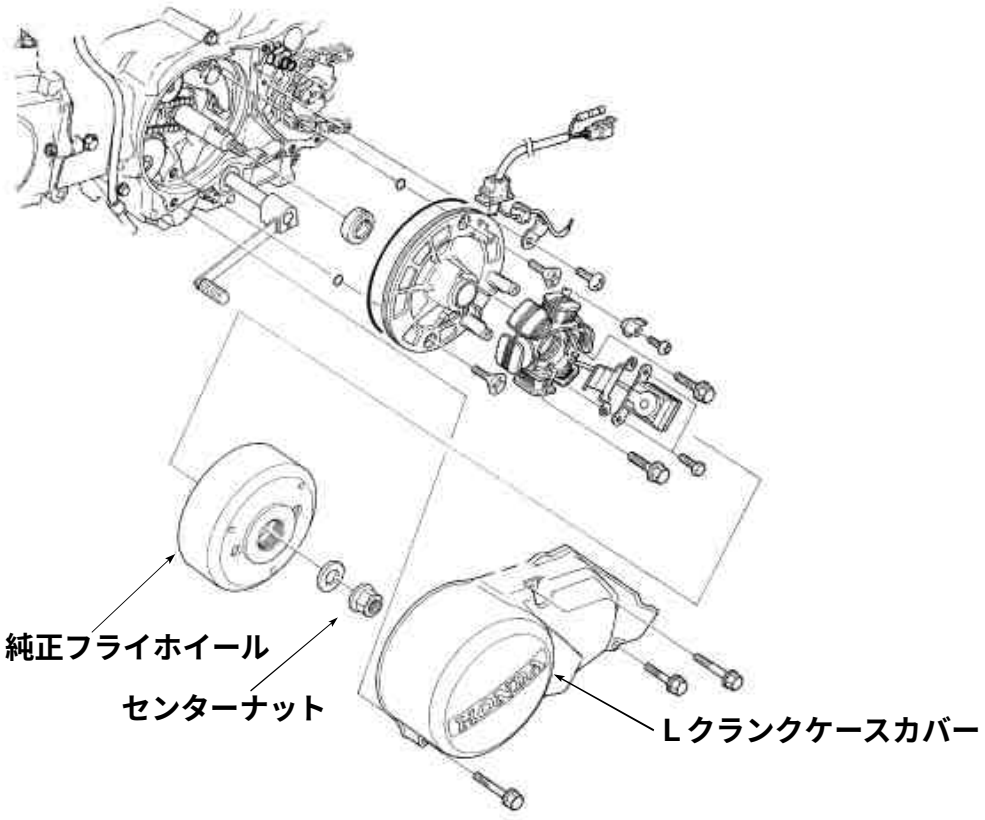


3. フライホイールプーラーを使用し、ノーマルフライホイールを取り外します。

One Point! 品番 44686 フライホイールプーラー￥2,625 を使用できます。



4. チャージコイルから出ている配線をゴムブーツ内の配線集合部にて取り外します。

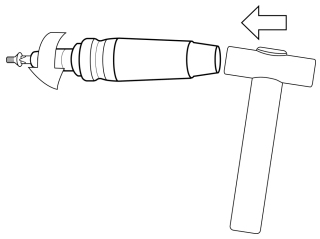


[ローターの取り外し]
①シザーズホルダーでフライホイールが周らないように固定し、ソケット（14mm）でセンターナットを緩めて取り外します。

②フライホイールセンターのネジ切り部にフライホイールプーラーをねじ込み、シャフトを緩めてフライホイールを取り外します。

5．ステータベースを固定している 2 本のプラスネジ（M６皿ねじ）を緩め取り外します。

⚠注意 **2 本のプラスネジは非常に舐めやすい為、インパクトドライバー又は、サイズのあったドライバーを使用し、注意して作業してください。**



【ミドルウエイトアウターローターの装着】

6．取外しの逆の手順で進めます。

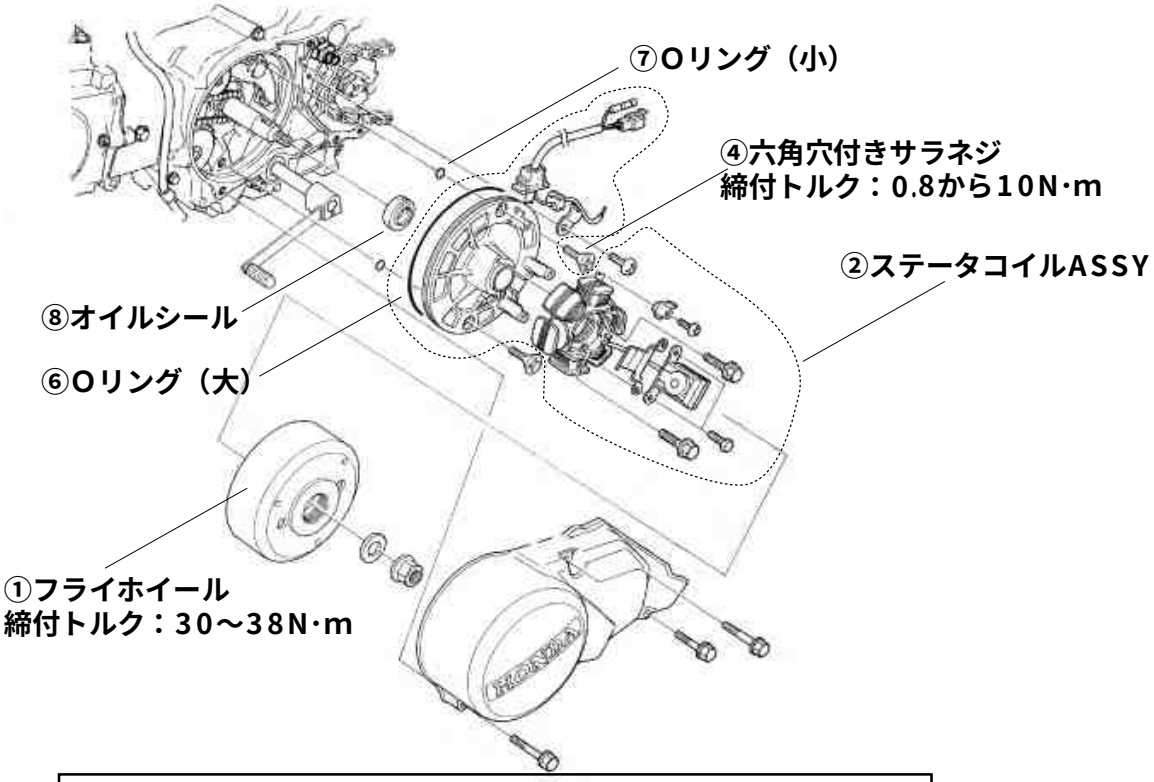
7．②ステーターコイル ASSY に、⑧オイルシールと⑥Oリングを組み付けます。
（オイルシールの取り付けの向きはノーマルと同じです）

One Point! **⑧.オイルシールの内側、⑥Oリングの外周に少量のグリスを塗布してください。**

8．クランクケースに⑦O リングを付け、②ステーターコイル ASSY を、④六角サラネジ M6（2 本）にて、クランクケースに取り付けます。

六角穴付きサラネジ締め付けトルク：0.8～10N･m

⚠注意 **コイルベースをクランクシャフトに通す際、ウッドラフキーに引っ掛けて、オイルシールのリップ分がめくれない様に注意してください。**



⑥Oリング（大）、⑦Oリング（小）、⑧オイルシール組付けの際に少量のグリスを塗ります。

9. ウッドラフキーがクランクシャフトの溝部に確実に取り付けられていることを確認し、フライホイールをクランクシャフトに取り付けます。シザーズホルダーで固定しながら、純正センターナットを締めて固定します。

純正センターナット締め付けトルク：30～38N·m

One Point!

ローターの位置がずれた状態で締めこまないよう注意してください。

10.②ステーターコイル ASSY から出ているニュートラル配線をニュートラルスイッチに差込み、グロメットをクランクケースにはめます。

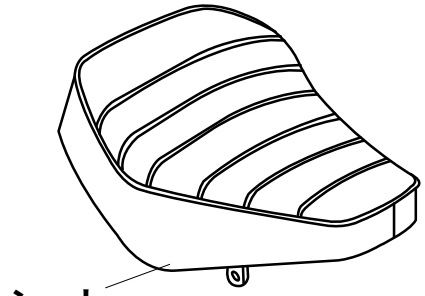
11.②ステーターコイル ASSY から出ている配線を純正ハーネスに接続し、グロメットをクランクケースにはめます。

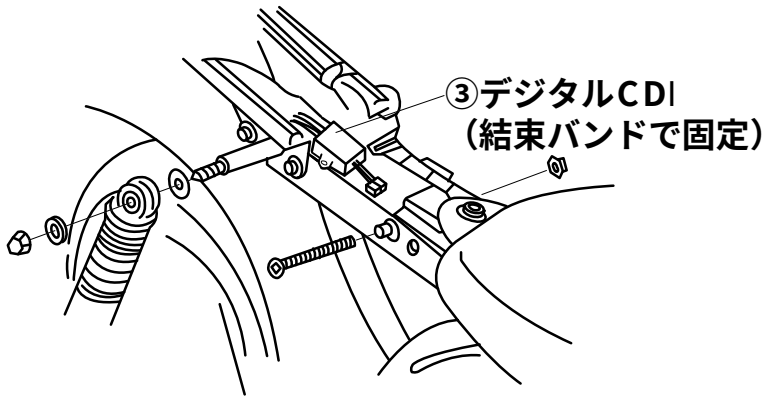
12.クランクケースカバーをもとのように取り付けます。

13.サイドカバー、バッテリーを取り外し、ノーマルＣＤＩのコネクターをメインハーネスから取り外します。

14.ノーマルＣＤＩを車体から取り外します。

15.シートを取り外します。シート下のフレーム上のスペースに③デジタルＣＤＩをのせ、⑨結束バンドで固定します。





⚠注意

- **Z50JN/JP はシート下にレギュレーターがあるため、任意の位置に結束バンドでＣＤＩを固定してください。**
- **必ず、⑤クッションシートを④ＣＤＩユニットに貼り付け、フレームからの振動がＣＤＩに伝わらないようにしてください。クッションシートが貼付されない場合、ＣＤＩは振動に弱いため内部基盤が損傷します。**

16.デジタルＣＤＩをメインハーネスのノーマルＣＤＩが取り付けられていたコネクターに接続します。

17.外した部品を元にもどし、作業は完了です。

補修部品

当社で販売している補修品				
品番	部品名称	必要数	税込価格	備考
73966	フライホイール	1	￥12,600	
73967	ＣＤＩユニット	1	￥15,750	
73968	ステータコイル	1	￥15,750	
62409	クッションシート	1	￥210	
上記価格は 2010 年 10 月現在の販売価格です。				

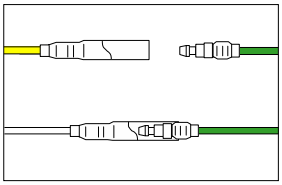
純正部品流用可能補修部品					
部品表ＮＯ	部品名称	純正パーツナンバー	メーカー	必要数	備考
⑥	オイルシール	91202-GE0-003	ＨＯＮＤＡ	1	
⑦	Ｏ－リング　（小）	91317-171-003	ＨＯＮＤＡ	2	
⑧	Ｏ－リング　（大）	91301-035-003	ＨＯＮＤＡ	1	

オプション

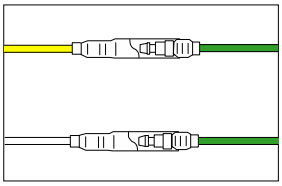
品番	部品名称	必要数	税込価格	備考
65706	電気式タコメーター ホワイトパネル/15000ｒｐｍ表示	1	￥14,700	ホワイト LED 照明
65707	電気式タコメーター ブラックパネル/15000ｒｐｍ表示	1	￥14,700	↑
46161	デジタルタコメーター	1	￥13,440	グリーン LED 照明
上記価格は 2010 年 10 月現在の販売価格です。				

点火時期の変更方法

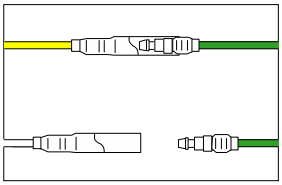
ミドルウエイトアウターローターの点火特性の変更について
【ＣＤＩのマップ変更での調整方法】



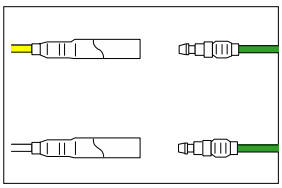
タイミング4 （T4）
ハーネス全接続
ＢＴＤＣ25°/4000ｒｐｍ～ＢＴＤＣ40°/7000ｒｐｍ
最も点火時期が進んだパワー重視のエンジン特性です。レスポンスも良い特性ですが最も進角しているため、若干、エンジンが熱を持って、オーバーヒート気味になることがあります。
※緑は２本ありますが、どちらでも可。



タイミング3 （T3）
白（メス）⇔緑（オス）を接続する
ＢＴＤＣ25°/4000ｒｐｍ～ＢＴＤＣ37.5°/6500ｒｐｍ
点火時期が進んだパワー重視のエンジン特性です。レスポンスも良い特性です。
※緑は２本ありますが、どちらでも可。

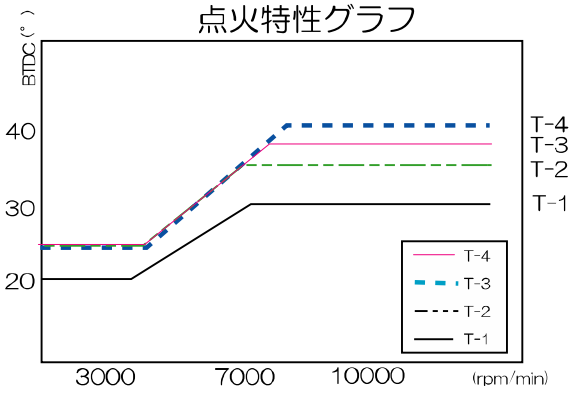


タイミング2 （T2）
黄（メス）⇔緑（オス）を接続する
ＢＴＤＣ25°/4000ｒｐｍ～ＢＴＤＣ35°/6000ｒｐｍ
早すぎない点火時期で高回転でゆっくりとエンジン回転が上がる伸び感があるエンジン特性になります。
※緑は２本ありますが、どちらでも可。



タイミング1 （T1）
どちらとも接続しない
ＢＴＤＣ22.5°/4000ｒｐｍ～ＢＴＤＣ30°/7000ｒｐｍ
進角特性が一番緩やかで、パワーは出ませんが穏やかな特性でアクセルを開け易いマイルドなエンジン特性になります。

点火特性グラフ



点火特性の切替方法
※エンジンを停止させ、CDI電源をカットします。次に点火特性を変更し、エンジンを始動させると点火特性が変更になります。
※点火特性の切り替え時に接続しない配線は絶縁テープ等で絶縁及び雨対策をしてください。

〈点火タイミングのセッティングについて〉

※上記グラフはあくまでも、参考イメージですので、正確な点火タイミングの把握は実車にてご確認ください。

※点火時期は、誤差が生じます。（ＢＴＤＣ±２度程度ずれる場合があります。）

株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで